

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	最終予算額	決算額
		目	4 環境衛生費	20,525千円	20,094千円
担当課決算額				773千円	773千円

○合併処理浄化槽設置整備事業 773千円  
 生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に資するため下水道事業・農業集落排水事業でできない箇所を合併処理浄化槽設置整備事業で補助しました。

補助対象限度額	5人槽 617千円	7人槽 773千円	10人槽 1,047千円
補助内訳	個人負担 30%	国 約13%	県 約23% 町 約34%
平成22年度実績	7人槽 1件		

款	4 衛生費	項	3 上水道費	最終予算額	決算額
		目	1 上水道費	36,204千円	2,204千円
担当課決算額				36,204千円	2,204千円

○水道事業会計繰出金 2,204千円  
 工場誘致に伴う町道高野線(旧赤碕町)上水道配管分を水道事業会計に助成しました。

款	4 衛生費	項	3 上水道費	最終予算額	決算額
		目	1 上水道費 (繰越明許)	15,000千円	15,000千円
担当課決算額				15,000千円	15,000千円

○水道施設中央監視設備事業繰出金 繰越明許 15,000千円  
 水道中央監視設備事業を平成21年から平成22年度に繰り越し、完了したことにより水道事業会計に繰出しました。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決 算 額
		目	7 農業集落排水事業費	212,314千円	212,314千円
担当課決算額				212,314千円	212,314千円

○農業集落排水事業推進基金積立金 15,341千円  
 農業用水域の水質保全及び農村生活の環境改善を図るため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水・汚泥を処理する施設等の整備を推進するために借り入れた起債の償還に充てるための基金に積立しました。

積立金財源	農業集落排水事業推進基金造成事業補助金	9,064千円
	農業集落排水事業推進基金利子	13千円
	事業分担金(事業費の5%充当後の残)	6,264千円

○農業集落排水事業繰出金 196,973千円  
 農業集落排水施設等の整備事業及び起債の元利償還の経費の一部を一般会計より繰出しました。

款	7 土木費	項	5 都市計画費	最終予算額	決 算 額
		目	3 公共下水道事業費	385,881千円	385,781千円
担当課決算額				385,881千円	385,781千円

○下水道事業推進基金積立金 22,029千円  
 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、し尿、生活雑排水等の汚水・汚泥の処理をする施設等整備事業を推進するため基金に積立てました。

積立金財源	公共下水道推進基金造成事業費補助金	2,088千円
	下水道事業推進基金利子	11千円
	受益者負担金(建設事業費の5%充当後の残)	19,930千円

○公共下水道事業繰出金 363,752千円  
 公共下水道施設等の整備事業及び起債の元利償還の経費の一部305,852千円及び地域活力基盤創造交付金57,900千円を一般会計より繰出しました。

平成22年度の決算は、最終予算額272,994千円に対し、歳入総額275,080千円、歳出総額271,420千円で実質収支額3,660千円でした。

款	1 事業費	項	1 処理施設費	最終予算額	決算額
		目	1 施設整備事業費	57,101千円	56,531千円
担当課決算額				57,101千円	56,531千円

- 農業集落排水施設維持管理事業 33,900千円  
農業用水域の水質保全及び農村生活環境の改善を図るため整備された農業集落排水処理施設(9箇所)・ポンプ場(40箇所)の維持管理を行うために要した経費です。

倉坂(H5.12供用開始)	伊勢崎(H6.11供用開始)	川東(H7.12供用開始)
古布庄東(H10.4供用開始)	上郷(H11.4供用開始)	古布庄北(H12.4供用開始)
古布庄南(H14.4供用開始)	山川木地(H17.6供用開始)	以西地区(H19.4供用開始)

平成23年3月31日現在

9地区の行政区別人口	4,063人	供用開始区域人口	4,063人
接続状況	3,327人	接続率	81.9%

内訳は処理施設・ポンプ場の保守点検委託料及び消毒剤等消耗品、電気水道代、浄化槽清掃、汚泥処理などの維持管理料です。

成果と課題

平成22年度末で接続率は81.9%となっており、接続率向上に向け推進を図る。

- 農業集落排水整備事業 6,507千円  
農業集落排水分担金を基金に積立するための繰出をしました。  
・受益者分担金前納報償金 220千円  
・一般会計繰出金 6,264千円  
・土地改良連合会負担金他 23千円

- 低コスト農業集落排水施設更新支援事業 16,124千円  
農業集落排水施設の長寿命化による維持管理費を低減させるため施設整備状況(構造物の環境や使用状況等)の調査・施設の劣化度合いの測定原因究明のための調査に要した施設機能調査業務委託料と事務費です。

款	1 事業費	項	1 処理施設費	最終予算額	決算額
		目	1 処理整備事業費(繰越明許)	11,730千円	10,828千円
担当課決算額				11,730千円	10,828千円

- 農業集落排水事業 繰越明許 10,828千円

以西処理区域の農業集落排水工事の平成21年度から繰越事業を平成22年度完了しました。集排以西工区舗装復旧(21-5工区)工事他2件、設計管理委託、事務費等です。

款	2 公債費	項	1 公債費	最終予算額	決算額
		目	1 元金	132,174千円	132,174千円
担当課決算額				132,174千円	132,174千円
<p>○農業集落排水施設維持管理 132,174千円                      農業用水域の水質保全及び農村の生活環境改善を図るため、処理施設・管路工事整備に伴う財源として起債を充当してきた償還元金です。</p> <p>財政融資資金償還金 84,032千円                      地方公共団体金融機構償還金他 48,142千円</p>					
款	2 公債費	項	1 公債費	最終予算額	決算額
		目	2 利子	71,989千円	71,887千円
担当課決算額				71,989千円	71,887千円
<p>○農業集落排水施設維持管理 71,887千円                      農業用水域の水質保全及び農村の生活環境改善を図るため、処理施設・管路工事整備に伴う財源として起債を充当してきた償還利子です。</p> <p>財政融資資金償還利子 45,309千円                      地方公共団体金融機構償還利子他 26,578千円</p>					

平成22年度の決算は、最終予算額1,093,555千円に対し、歳入総額1,080,014千円歳出総額1,067,907千円で翌年度繰越明許額1,440千円で実質収支額10,667千円です。

款	1 下水道費	項	1 下水道費	最終予算額	決算額
		目	1 下水道整備費	725,151千円	702,168千円
担当課決算額				725,151千円	702,168千円

○特定環境保全事業 336,820千円

赤碓処理区域で、管路施設工事(亀崎町、南荒神町、三軒屋、東三軒屋、港町、向原、湯坂、出上)と、それに伴う設計委託業務、水道管移転補償等を行いました。

人件費 一般職4名 36,271千円

主なものとして、特環公共下水道工事設計業務委託料他 34,869千円

特環赤碓地区(22-1~4工区)向原地区(22-1~2工区)湯坂地区(22-1~4工区)出上地区(22-1~2工区)工事、舗装赤碓地区(22-工区)湯坂工区(22-1~2工区)工事、赤碓(港町・三軒屋)マンホールポンプ工事 241,694千円

水道管移転外補償費 18,576千円

面積	計画 298ha	認可 269ha	整備済 190.7ha
----	----------	----------	-------------

整備率	平成22年度まで計画に対して64.0%
-----	---------------------

成果と課題

汚水等を処理する施設等を整備し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図った。平成22年度末現在の整備率は、64.0%となっており、今後を平成32年度の完成に向け未普及地域の解消等を行う。

○公共下水道事業 365,348千円

東伯処理区域で、管路施設工事(浦安、下伊勢、八橋、三保、上伊勢)それに伴う設計委託業務、水道管移転補償等を行いました。

人件費 一般職4名 29,208千円

主なものとして、下水道詳細設計業務委託料他 27,389千円

公共八橋地区(22-1~7工区)浦安地区(22-1~3工区)上伊勢地区(22-1~3工区)下伊勢地区(22-1~3工区)三保地区(22-1~5工区)保地区(22-1工区)工事、舗装復旧(22-1~2工区)工事、八橋マンホールポンプ工事 277,379千円

水道管移転補償費 10,280千円

面積	計画 446ha	認可 419ha	整備済 217.4ha
----	----------	----------	-------------

整備率	平成22年度まで計画に対して48.7%
-----	---------------------

成果と課題

汚水等を処理する施設等を整備し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図った。平成22年度末現在の整備率は、48.7%となっており、今後を平成32年度の完成に向け未普及地域の解消等を行う。

款	1 下水道費	項	1 下水道費	最終予算額	決算額
		目	1 下水道整備費 (繰越明許)	8,940千円	8,929千円
担当課決算額				8,940千円	8,929千円

○特定環境保全事業 繰越明許 2,212千円  
赤碕処理区域の公共下水道工事の平成21年度からの繰越事業を平成22年度完了しました。  
(特環出上地区(21-2工区)舗装工事費、事務費等)

○公共下水道事業 繰越明許 6,717千円  
東伯処理区域の公共下水道工事の平成21年度からの繰越事業を平成22年度完了しました。  
(公共下伊勢地区(21-1)工事費、事務費等)

款	1 下水道費	項	1 下水道費	最終予算額	決算額
		目	2 下水道維持管理費	60,085千円	59,203千円
担当課決算額				60,085千円	59,203千円

○東伯処理区 33,100千円  
東伯浄化センター及びマンホールポンプ等の維持管理を行うために要した経費です。  
供用開始地区 逢束、徳万、保、下伊勢一部、浦安一部、八橋一部、丸尾  
上伊勢、三保一部  
供用開始区域人口 5,383人 接続人口 3,284人 接続率 61.0%  
東伯浄化センターの消毒剤等消耗品、電気水道代、汚泥収集運搬処分、維持管理委託料等

成果と課題

東伯処理区では、接続人口は昨年より225人増えたが、接続率が61.0%と低い状況である。

○赤碕処理区 26,103千円  
赤碕浄化センター及び中継ポンプ場、マンホールポンプ等の維持管理を行うために要した経費で  
供用開始地区 筥津、坂の上、湯坂、下市、地蔵町、西地蔵町、駅前通り、大山町、八幡町、荒神町、南荒神町、  
桜ヶ丘、東桜ヶ丘、花見町、きらり町、上野、扇町、塩屋町、東町、東山の一部、西仲町、仲之町の一  
部、西町、本町、三軒屋、東三軒屋、港町、亀崎町の一部  
供用開始区域人口 4,257人 接続人口 2,659人 接続率 62.5%

赤碕浄化センターの消毒剤等消耗品、電気水道代、汚泥収集運搬処分、維持管理委託料等

成果と課題

赤碕処理区では、接続人口は昨年より187人増えたが、接続率が62.5%と低い状況である。

款	1 下水道費	項	1 下水道費	最終予算額	決 算 額
		目	2 下水道管理維持費 (繰越明許)	3,675千円	2,205千円
担当課決算額				3,675千円	2,205千円
<p>○東伯処理区 繰越明許 2,205千円 東伯浄化センター曝気機分解修理の平成21年度からの繰越事業を平成22年度完了しました。</p>					
款	2 公債費	項	1 公債費	最終予算額	決 算 額
		目	1 元金	179,449千円	179,447千円
担当課決算額				179,449千円	179,447千円
<p>○ 事業債償還元金 179,447千円 公共下水道事業整備に伴う財源として、起債を充当することにより、世代間の均衡を保つためのもので、その長期債の償還元金です。 財政融資資金貸付償還元金 47,786千円 簡易生命保険資金償還元金 39,192千円 地方公共団体金融機構償還元金 92,469千円</p>					
款	2 公債費	項	1 公債費	最終予算額	決 算 額
		目	2 利子	116,255千円	115,955千円
担当課決算額				116,255千円	115,955千円
<p>○ 事業債償還利子 115,955千円 公共下水道事業整備に伴う財源として、起債を充当することにより、世代間の均衡を保つためのもので、その長期債の償還利子です。 財政融資資金貸付償還利子 35,102千円 簡易生命保険資金償還利子 26,646千円 地方公共団体金融機構償還利子 54,207千円</p>					